

あおもりアースレンジャー活動報告書

平成23年10月20日

環境政策課長 殿

活動内容を次のとおりご報告いたします。

氏名	土岐 泰
電話番号	
活動期間	平成23年4月～平成23年9月
活動地域	主に弘前市周辺
活動内容	<p>1、青森県環境政策課主催事業への参加・研修</p> <p>(1) 平成23年度青森県地球温暖化防止活動推進員研修会          日時：平成23年7月2日 10:00～14:40          場所：青森県庁西棟B会議室          対象：青森県地球温暖化防止推進員          内容：○環境活動についての講演「農業高校の環境活動について」鳴海純氏          ○環境家計簿の効果と利用方法など 加賀谷重男氏          所感：有谷代表の挨拶を聞きながら、推進員としての自分の暮らし方や動き方・立場（エネルギーや原発など）を、大震災後に沿えることを第1に考えて行動していかなければならないと感じた。鳴海先生の講演では、農業高校生が地球温暖化防止につながる活動を、工夫しながら活発に取り組んでいる様子を知り頼もしく嬉しく感じた。また、自分の1年間の環境家計簿演習の結果、二酸化炭素の排出量を減らす必要があることを実感したので、これまでよりも少しでも無駄を減らす工夫をすることを心に決めた。</p> <p>(2) 「環境教育サポーター」認定研修会          ① 日時：平成23年8月21日（日）10:00～12:00          ② 場所：弘前市総合学習センター          ③ 対象：「買い物ゲーム」及び「省エネゲーム」の環境出前講座を収録したDVDを視聴した者          ④ 内容：◎環境出前講座の概要（実施体制・プログラムの概要）          ◎環境教育サポーターの業務内容（活動要領・サポート内容＝シナリオ）          ◎その他連絡事項          ⑤ 所感：環境出前講座についての今後の実施体制や環境教育サポーターの業務内容がよく理解できた。また、出前講座の2種類のプログラムについてはこれまで色々な形で触れたことも合わせてよく理解できたので、今後実際の出前講座にサポーターとして参加する意欲がわいた。</p> <p>(3) 「環境出前講座受講体験会」          ① 日時：平成23年8月21日（日）13:30～16:00          ② 場所：弘前市総合学習センター          ③ 対象：環境教育サポーター（認定予定者を含む）          ④ 内容：NPO法人CROSSの環境教育専門員が実施する「買い物ゲーム」と「省エネゲーム」を受講体験する。          ⑤ 所感：CROSSさんの専門員の方のメリハリの利いた指導で、二つのゲームを楽しく体験でき、また、今後のサポーター参画と見学スケジュールも決まったので、2回の出前講座参画と「おしえてちきゅりん!」「どっちかなゲーム」の参観も待ち遠しくなった。</p>

#### (4)「環境出前講座」へのサポーター参画

- ① 日時：平成23年9月14日（水）10：35～12：05
- ② 場所：弘前市立北小学校
- ③ 対象：3年2組
- ④ 内容：買い物ゲーム
- ⑤ 所感：予定時刻より少し早めに到着したら、3年1組の出前講座の参観をさせていただくことができ、その時間の教材の後始末と次の時間の準備作業にも参加させていただくという幸運に恵まれた。3年2組の本番では、買い物ゲームの1回目2回目の結果に一喜一憂している子ども達の様子に寄り添いながら、必要なアドバイスやお店の当番の役目を務めるように心がけた。ゲームの最後に「家に帰ったら、できるだけごみが出ないような買い物を工夫するようにお母さんにもお話したい」などの子ども達の感想を聞き、この出前講座の大切さを強く感じ、自分でもサポーターとして協力することに希望がわいてきた。

## 2 青森県環境パートナーシップセンター事業への参加・協力

### (1)高校生ボランティアによるだんぶり池作業体験活動のサポート (だんぶり池作りメンバーとともに)

- ① 日時：平成23年9月24日（土）9：00～11：30
- ② 場所：弘前だんぶり池
- ③ 対象：弘前実業高校(生徒4名、教師1名)
- ④ 内容：池や通路に繁茂しすぎた植物を草刈り機械で刈ったり、それを集めて一輪車に積んで運ぶ作業を高校生と一緒にいき、最後にとんぼなど生き物調査をした。
- ⑥ 所感：前回の報告でも述べたように、この活動は、「農業高校を拠点とした北東北温暖化防止地域ネットワーク形成事業」の一環として昨年に引き続き行われている。引率教師共々、汗を拭きながら黙々と散乱した草を集めては一輪車に積み上げて運ぶ作業ぶりは、さすがしく感動的光景である。休憩時やトンボ調査時には、最近の気候変動によって、だんぶり池周辺でもトンボの種類や猿、熊など生き物の生態に変化がみられること、また作業小屋に設置されている太陽光発電の話などが話題となる。地球温暖化や生物多様性などの話題を高校生と一緒にさりげなく語り合える貴重な場と考え、あえて記述している。

## 3、個人的な暮らしの中で

- これまで同様に、低炭素社会に協力できるような暮らし方を心がけ、出来る時に出来る方法（節電・節水・地産地消・庭の植栽・外出時の弁当やお茶の持参、エコドライブなど）で続けていきたい。
- 同じく低炭素社会に共感する立場の者として、次のような活動にも参加している。
  - ・まちかど広場クリーン大作戦（4月10日、HEP21主催、企画から参加）
  - ・アースレンジャーつがるの会月例会や展示企画に参加  
(今期は、月例会は4月25日の1回のみ、また、ヨーカドーの自然エネルギー展示にも少しの時間だけの参加だった。反省点になっている。)
  - ・弘前市主催「環境月間シンポジウム（6月23日13：00～16：00、弘前文化センター大ホール）」に参加。中山由美さん（朝日新聞社報道記者）による「南極から地球が見える」の講演を聞いた。その中で、南極の氷床コアに含まれる空気の分析から、過去34万年間の大気中のCO2濃度を調べると、18世紀の産業革命以降現在までの200～300年間に、かつてないスピードでCO2

が増えていることが確かめられているグラフも示された。南極観測は、地球の環境変動を知る指標の役割も担っていることを実感した。

- ・HEP21エコクラブのワンデーエコキャンプ（8月27～28日、五所川原市脇元海辺ふれあいゾーン、メンバーと保護者8名参加）地産地消、省エネ、ゴミの少ないエコキャンプということで、食事はガスで沸かしたお湯を注ぐだけのレトルト食品での夕食を楽しんだ。

23年度前半は、個人的な都合が優先して、推進員としての活動がほとんどできなかったことを反省し、後半にはもう少し前向きに取り組むようにがんばらなければと考えているのですが.....。

提出先 〒030-8570 青森市長嶋1-1-1  
青森県 環境政策課 低炭素社会推進グループ  
FAX 017-734-8065  
E-mail kankyo@pref.aomori.lg.jp